

講座
21

人間学再論—今あらためて人-間を考える

オンライン併用

【定員】96名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『歴史・文学・人間学』人間学 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)

概要

和辻哲郎は、人は「間」をもつことによって人間たりうると、人間を「間柄（あいだがら）存在」と規定した。その「間」は、人と人との間のみならず、人と人を超えたものとの間でもある。ここでは、そうした「人-間」存在の多様・多彩なありようをさまざまなジャンルから論じてもらいます。

| 回 | 月/日(曜) | 会場 | 学習内容 | 講師名(敬称略) |
|----|---------|--------------------|---------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 4/13(木) | 川崎市 生涯学習 プラザ | 間（あいだ・あわい）から考える | 東京大学名誉教授 竹内 整一 |
| 2 | 4/20(木) | | ドラマづくりの人-間学 | NHKドラマプロデューサー（「半分、青い。」など） 勝田夏子 |
| 3 | 4/27(木) | | 歩きながら考える | 朝日新聞「天声人語」元筆者 富永 格 |
| 4 | 5/11(木) | | 愉しみとしての死① | 哲学者 内山 節 |
| 5 | 5/18(木) | | 愉しみとしての死② | |
| 6 | 5/25(木) | | 世阿弥 最後の花 | 作家 藤沢 周 |
| 7 | 6/ 8(木) | | 資本主義と民主主義の間 | 社会学者 大澤 真幸 |
| 8 | 6/15(木) | | 音楽と時代の発明——その時々「心に響く音楽」の探究 | ピアニスト 本田 聖嗣 |
| 9 | 6/22(木) | | 人間と動物とのたがい（違い・互い）の間 | 日本女子大学准教授 伊藤 由希子 |
| 10 | 7/6(木) | | 昭和から平成、音楽と時代 | 音楽評論家 田家 秀樹 |
| 11 | 7/13(木) | | 編集者人生で出会った著者は1万人 | 元岩波書店社長 山口 昭男 |
| 12 | 7/20(木) | | 「ありてなければ」の思想再考 | 東京大学名誉教授 竹内 整一 |